

東北広域次世代がんプロ養成プラン 共催セミナー実施報告書

(本報告書は東北広域次世代がんプロ養成プラン HP へ掲載させていただきます)

(セミナー名称) 第 679 回宮城産科婦人科学会集談会
1. 担当分野 婦人科学分野
2. 実施年月日 令和 6 年 6 月 29 日 (土) 16:00~17:45
3. 開催場所・開催方法 TKP 仙台西口ビジネスセンター2F カンファレンスルーム 2A
4. 関連分野・領域 産婦人科
5. 対象者 主に産婦人科領域の医師・がん医療従事者・がん研究者
6. 参加者について 参加者合計人数:43 名 以下の内訳について教えてください 学内参加者数: 4 名 学外参加者数:39 名 東北大学、弘前大学、秋田大学、山形大学、福島県立医科大学、新潟大学、岩手医科大学での参加大学数:4 名 上記がんプロ連携大学、協力大学以外の参加大学数:2 名 なお、他の内訳もございましたら、以下にご記載ください(医師、薬剤師、看護師、など) 医師 43 名 看護師 0 名 胚培養士 0 名 検査技師0名 臨床心理士 0 名
7. 成果 一般講演では『アメリカ留学で見つけた卵巣がんの新規治療戦略』とのテーマで東北大学病院産婦人科 助教 工藤 敬 先生から講演を頂いた。癌幹細胞性質を模倣するためにがん細胞を3D 培養を行ったうえで NAD 代謝を阻害する NAMPT 阻害剤、ALDH 阻害剤の併用療法を開発し、マウス実験でも少ない副作用で治療効果を発揮したとのデータを得られていた。特別講演として『私が考える婦人科がん手術に関する医療安全対策～人間心理の視点を含めて～』とのテーマで名古屋大学大学院 医学系研究科 産婦人科学 教授 梶山 広明 先生から各種バイアスが引き起こす医療事故に関し解説いただき、日々の臨床に有益な話題であった。

【当日の会場の様子などの写真がございましたら、添付ください】



